

2025 年 12 月 1 日

各位

会社名 ピープル株式会社
代表者名 取締役兼代表執行役 桐渕 真人
 (東証スタンダード コード番号 7865)
問合せ先 IR チーム チーム長 小岩 朋紀
 (TEL: 03-3862-2768)

配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

「2026 年 1 月期第 2 四半期決算短信[日本基準]（非連結）」において未定としており
ました当期末配当予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当予想修正の内容

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
前回予想 (2025 年 8 月 29 日 発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 未定	円 銭 未定
今回予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2025 年 1 月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

2. 配当予想（無配）の理由

当社は現在、事業改革の途上にあり、先行投資の結果、通期（2025 年 1 月 21 日～2026 年 1 月 20 日）で営業損失、経常損失、当期純損失を見込んでおります。こうした状況から、将来の収益機会を確保するうえで必要な取り組みを着実に進めつつ、財務基盤の安定維持を重視することとし、当期の利益還元につきましては、この財務方針を優先するため、誠に遺憾ながら無配とさせていただく予定でございます。今後の業績動向を見極めつつ、安定的な収益確保を最優先に進めてまいります。

業績予想達成の見込みは、以下の通り、事業改革の成果と今後の新商品展開に大きく依存します。

1.高収益体質の確立と損益分岐点の低下

抜本的な事業改革を通じて、高採算商品の比率向上による収益体質の確立と損益分岐点の低下に継続して取り組んでおります。短期的にはベビー系商品の販売鈍化等により売上総利益率の変動が見られますが、この事業改革の成果が表れ、収益構造が安定的に改善することで、1つの新商品のヒットが過去と比較して収益のレバレッジ効果により業績を大幅に改善する利益構造の実現を目指します。

2.経営資源の中長期投資への集中

中長期的な成長の源泉となる研究開発費（新事業準備費）に経営資源の集中投下を継続しています。この先行投資の成果を回収するため、新商品群のローンチとブランディング活動の本格化を通じて、中長期的な成長の礎を築き、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

市場環境の厳しさは認識しておりますが、デジタル知育サービス「さわる TECH(テック)」また来春の新シリーズ立ち上げを確実なものとし、「新商品のヒットを実現することで、長期的に安定した利益構造を確立する」という戦略のもと、目標達成に向けて邁進すると共に早期の復配を目指して参りますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

以上